

4

市の財政状況を分かりやすく  
平成25年度の財務書類を公表

Financial Report

市

の財政状況について、一年間の現金収支に加えて年度末の資産の状況を企業の決算に準じて公表しています。市（の全会計に市が出資している団体（土地開発公社・第3セクターなど）を加えた連結会計の財務書類4表にて説明します。

▼財政課 ☎27局8601



貸借対照表(H26.3.31現在)

左側(資産の部)には市が所有する資産の種類と金額を、右側(負債の部)は市が所有する負債の種類と金額を示しています。平成25年度の資産総額は既存資産の減価償却などにより約37億円減の、約3009億円となりました。

部・純資産の部)はその資産を取得した時の財源の出所を示しています。

平成25年度の資産総額は既存資産の減価償却などにより約37億円減の、約3009億円となりました。

■ 資産の部

3,009億円  
(前年度比△37億円)

流動資産

現金・預金など

73億円

(前年度比△16億円)

基金・出資金など

149億円

(前年度比+2億円)

公共資産

道路や施設など

2,787億円

(前年度比△23億円)

■ 負債の部

市債など将来世帯の負担額

487億円

(前年度比+1億円)

■ 純資産の部

市税など今までの世帯の負担額

2,522億円

(前年度比△38億円)

◎平成24年度末 純資産残高	2,560 億円
①1年間の変動	△38 億円
内 ②純経常行政コスト	△375 億円
内 ③税金・国庫支出金など	402 億円
内 ④インフラ資産の減価償却費・資産評価差額など	△65 億円
⑤平成25年度末 純資産残高	2,522 億円
(◎+①)	

間の変動を示しています。貸借対照表の「純資産の部」の一年間の変動を示しています。

⑥経常行政コスト	419 億円
内 ⑦人にかかるコスト 人件費など	66 億円
内 ⑧物にかかるコスト 消耗品・減価償却費など	115 億円
内 ⑨移転支的コスト 社会保障費・補助金など	230 億円
内 ⑩その他のコスト 支払い利息など	8 億円
⑪経常収益(使用料・分担金など)	44 億円
⑫純経常行政コスト(⑥-⑪)	375 億円

行政サービスの提供にかかった消費的な支出の内訳を示しています。

分析

財務書類から分かること

- ①純資産比率 83.8% (△0.2%)  
総資産のうち負債を除いた純資産の割合です。市債残高が増加したため、前年度よりも低下しました。
- ②流動比率 222.9% (△2.0%)  
以後1年間の支払い予定額に対して準備がどの程度行われているかを示しています。翌年度の市債償還額が増加したため、低下しました。
- ③1人当たり市債残高 57.6万円 (↑0.8万円)  
市債残高の増加および田原市の人口減少により増加しました。

資金収支計算書

(H25.4.1~H26.3.31)

⑬平成24年度末 資金残高	53 億円
⑭1年間の変動	+2 億円
内 ⑮経常的収支 市税や物件費など	86 億円
内 ⑯資本的収支 建設費・基金繰入金など	△69 億円
内 ⑰財務的収支 借入金・償還金など	△15 億円
⑱平成25年度末 資金残高	55 億円
(⑬+⑭)	

現金の流れを示し、どのような活動に資金を使用したかを表しています。